

No.	023	—	1001	事務事業名	成人式開催事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策					
	事業の対象	東温市内在住の成人該当者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	大人としての自覚を促し、人生の節目の事業として実施します。			今年度	成人該当者の成人を祝います。						
	活動内容	①	成人式実行委員会の設置			④	成人式該当者への周知(広報・イントラに掲載)						
		②	成人式の内容等について協議			⑤	会場準備						
		③	成人式該当者・恩師・来賓の方へ案内ハガキ送付										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		成人式参加者数		出席者/新成人対象者		人	目標 403	411	370	該当者の80%			
					実績 300	305							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	881 千円	843 千円	1,292 千円								
	計(A)	881 千円	843 千円	1,292 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.386 人	2,910 千円	0.386 人	2,331 千円	0.386 人	2,335 千円					
		臨時職員工数・経費	0.006 人	10 千円	0.006 人	11 千円	0.006 人	11 千円					
	全体事業費(A+B)		3,801 千円		3,185 千円		3,638 千円						
一次評価者	社会教育係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市外に就職・進学した新成人にとっては、友人たちと再会できる場にもなっており、参加者からは好評を得ています。												
有効性	成人式は年に1度の事業であり、また参加者にとっては一生に一度の行事ですので、有効性は高い事業です。												
達成度	毎年実施しておりますが、大人としての自覚を持ち、問題なく実施出来ておりますので、概ね達成しています。												
効率性	現在運営委員会形式で実施しておりますが、毎年参加者が少ないため、運営が難しくなっています。もっと効率のよい運営を検討する必要があります。												
当面の課題	今後、運営委員会で内容等を検討し、充実した成人式になるよう改善していきたいと考えます。												
改革計画	運営委員会の役割等、他市町の情報を収集し、募集方法等の改善を検討していきます。また、参加者の増加に努めていきたいと考えます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	成人式を成功させるため、イベントでは無く、儀式である事を認識して、思い出となる式典としてください。												

No.	023	—	1006	事務事業名	J r. リーダー育成講座事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策	(4) 青少年団体、リーダーの育成				
	事業の対象	東温市内の中学生				根拠法令							
	事業の目的	最終的	新しい時代を切り拓く積極的な心を育て、次代の指導者として育成します。			今年度	体験学習を通し、生き抜く力を習得し、仲間や地域の人々との連帯感を深め、一人一人の自己教育力の確立を目指します。						
	活動内容	①	6月27日(月) 開講式(東温消防署にて防災体験)			④	12月27日(火) 冬季事業(久万スキーランドでのスノーボード体験)						
		②	8月3・4日(水・木) 夏季事業(休暇村瀬戸内東予シーサイドキャンプ場)			⑤	2月12日(日) 森林ボランティア(塩ヶ森の山林で間伐及び枝打ち作業体験)						
		③	8月17・18日(水・木) 無人島キャンプ(松山市中島町由利島)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		講座参加者数		参加者の実数		人	目標 30	30	30	30			
					実績 27	35							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	344 千円	350 千円	489 千円								
	計(A)	344 千円	350 千円	489 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.166 人	1,251 千円	0.166 人	1,002 千円	0.166 人	1,004 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,595 千円	1,352 千円	1,493 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	学校の枠を超えた中学生対象の年間講座は、県内の他の市町ではあまり事例がありません。いろいろ内容を改善しながら学校では出来ない経験をさせることは、青少年の成長に必要です。												
有効性	事業を実施し他校の生徒との交流を通して協調性、自主性を身につけるのに有効です。但し、内容については、いろんな経験が出来るよう毎年見直しが必要です。												
達成度	年により参加者の人数は多少増減しますが、ほぼ達成しています。												
効率性	なるべく予算をかけない方法で実施しておりますが、さらに効率が上がるよう工夫しながら実施していきます。												
当面の課題	講座の内容等を見直し、魅力ある講座を目指して、実施する必要があります。												
改 革 画	アンケートやインターネット等による情報収集を行うと同時に、指導者のスキルアップを図り改善を検討していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	講座を開催するに当たって、参加者から意見を聞き、参加して良かったと思える講座を実施してください。												

No.	023	—	1011	事務事業名	わんぱく広場事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策					
	事業の対象	東温市内に在住している小学4年から6年生の児童				根拠法令							
	事業の目的	最終的	体験活動を通じて地域の自然・文化を再認識させ、仲間意識・連帯感の高揚を図り、子どもに生きる力・創造力・健全な心身を養うことを目的とします。			今年度	体験活動を通じて仲間と協力し、自ら行動する力を養います。						
	活動内容	①	7月9日(土) わんぱく科学くん!				④	1月28日(土) クラウス先生のおまかせクッキング!					
		②	8月3・4日(水・木) 夏季教育キャンプ(休暇村瀬戸内東予シーサイドキャンプ場)				⑤	2月25日(土) 生き物観察会・閉講式					
		③	10月15日(土) ハロウィンの森で遊ぼう!										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		講座参加募集数		講座参加数		人	目標 80	80	80	80			
アンケート満足度		満足度5段階評価 (5点満点) 5及び4採点者数/参加人数		%	目標 100	100	100	100					
					実績 75	90							
					目標 89	91							
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	276 千円	489 千円	410 千円								
	計(A)	276 千円	489 千円	410 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.161 人	1,214 千円	0.161 人	972 千円	0.161 人	974 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,490 千円	1,461 千円	1,384 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	C	必要性	2	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	実施方法は各市町で違いはありますが、ほとんどの市町で独自に実施されています。また学校で行う活動には限界があるため、活動を補い、学校では出来ない経験をさせることは必要です。												
有効性	学校では出来ない講座内容を考えて実施しています。また講座をとおして他校の児童との交流や協調性、自主性を身につけるのに有効です。												
達成度	次年度も続けて講座に参加してくれる児童もおり、また少子化で児童数が減少しているにもかかわらず、参加数もほぼ毎年一緒となっているため、概ね達成しています。												
効率性	なるべく予算をかけない様に考えて実施していますが、ボランティア制度等を利用しさらなる効率性を検討する必要があると考えます。												
当面の課題	児童の健全育成を推進できるよう、体験型の講座を充実させ、より良いものを提供できるよう検討する必要があります。												
改革計画	他市町の実施内容等の情報を収集し、改善を検討していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	様々な体験が出来る講座にするとともに、実施回数についても検討が必要です。												

No.	023	—	1016	事務事業名	大人と子どものふれあい事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営・一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策	(3) 青少年の体験・交流活動等への参画促進				
	事業の対象	東温市内在住で、必ず親（保護者）と子どもで参加できる方				根拠法令							
	事業の目的	最終的	地域の自然や文化などを家族で体験し絆を深め、東温市をより深く知っていただき、郷土愛をはぐくんでいきます。			今年度	親子でいろいろな体験をし、地元への思いを深めます。						
	活動内容	①	6月4日(土) 親子でダンボールの舟工作教室！（ダンボールで舟を作り、実際に池に船を浮かべて船乗り体験）			④	11月27日(日) 親子スノーボード体験教室(アクロス重信でスノーボードを体験)						
		②	6月26日(日) 坊っちゃん劇場まるかじり教室(坊っちゃん劇場でミュージカル「誓いのコイン」を観劇し、バックステージを実施)			⑤	2月5日(日) もち麦で手打ちうどんに挑戦！（東温市特産のもち麦を使用し、手打ちうどん作りを体験）						
		③	10月15日(土) 親子でペットボトル工作教室！（ペットボトルでホバークラフト、ロケットを製作し、実際に発射等を体験）										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		教室参加者数		参加者延人数		人	目標 214	130	140	140			
					実績 195	102							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	75 千円	84 千円	156 千円								
	計(A)	75 千円	84 千円	156 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.051 人	384 千円	0.051 人	308 千円	0.051 人	308 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		459 千円	392 千円	464 千円									
一次評価者	社会教育係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	親子で実施する事業を提供し、ふれあえる機会を提供することは必要です。												
有効性	坊っちゃん劇場を利用して、事業を実施することは、身近にある東温市の魅力を知ってもらうのに有効です。また、親を通して地域外への文化発信、子どもの人格形成にも役立ちます。												
達成度	どの講座も、定員を超える申し込みがあり概ね目標を達成しています。												
効率性	現在は各学校を通じて案内を行っていますが、10組の募集であっても全学校児童に配布しており、手間の面からすると効率は良くありませんが、広報だけでは募集人数が集まらないため、効果的な方法を見直す必要があります。												
当面の課題	市内の施設を活用し、親子で学びふれあえる機会を提供できるよう検討する必要があります。												
改革計画	他市町の事業内容等を参考に計画していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	郷土愛を育むため広い分野で計画を進め、親子で参加できる機会を提供する事は大切なことです。												

No.	023	—	1021	事務事業名	社会人権同和教育事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営・補助等	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第6章 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	1 人権尊重のまちづくりの推進		主要施策	(2)あらゆる場を通じた人権教育・啓発活動の推進				
	事業の対象	市民				根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法令						
	事業の目的	最終的	人権が尊重される社会の実現を図ります。			今年度	地域住民に対して、あらゆる場を通じ、人権意識を高めることができる場を提供していきます。						
	活動内容	①	人権講座の開催			④	市内企業訪問で人権啓発(人権教育協議会)						
		②	人権ゼミナールの開催			⑤	人権啓発パンフレット作成(人権教育協議会)						
		③	人権を語る集いの開催(人権教育協議会)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		人権講座参加者数	参加延人数		人	目標	330	320	330	350			
			実績	301		320							
人権ゼミナール参加者数		参加延人数		人	目標	250	250	270	300				
					実績	533	267						
人権を語る集い参加者数		参加延人数		人	目標	300	300	300	300				
			実績		200	182							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費	平成 22 年度決算		平成 23 年度決算		平成 24 年度予算		備考					
		国・県支出金	28 千円		66 千円		37 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	3,452 千円		2,992 千円		3,256 千円						
		計(A)	3,480 千円		3,058 千円		3,293 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.134 人	1,010 千円	0.124 人	749 千円	0.124 人	750 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.248 人	451 千円	0.248 人	465 千円					
	全体事業費(A+B)		4,490 千円		4,258 千円		4,508 千円						
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	様々な人権問題に関する市民の理解と認識を深め、自らの課題として解決する人権尊重意識の高揚を図るため、行政が積極的に取り組む責務を負っています。												
有効性	生涯学習の観点に立って、社会教育と学校教育の両面から、また関係機関、団体等との連携のもと、学習の場の確保と研修の充実により、人権意識と実践力を高める成果が大きく期待できます。												
達成度	人権講座、人権ゼミナール、人権を語る集い等の研修会参加者数も安定しており、市民の人権意識の高揚が図られるとともに、「人権文化の根付くまちづくり」に大きく貢献しています。												
効率性	研修会の実施に際しては、テーマに即した講師等を必要最低限の謝礼、旅費等で依頼するなど、効率実施に努めています。また、愛媛県人権教育協議会等との連携を深め、講師派遣協力等により、コスト削減に努めています。												
当面の課題	事業のより一層の工夫改善を通して、理解からさらに実践化につなげていくことが必要です。												
改革計画	聞くだけの研修から、参加体験型研修やディスカッション形式等の導入を検討します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	市の総合計画に基づき、人権が尊重される社会の実現を図るため、積極的に取り組んでください。												

No.	023	—	1024	事務事業名	市民大学開催事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 芸術・文化の振興		主要施策	(2) 芸術・文化の鑑賞機会と発表機会の拡充				
	事業の対象	市民				根拠法令							
	事業の目的	最終的	市民大学を市民との協働のもとに進めるとともに、民間の劇場との連携により、多様な芸術・文化を鑑賞する機会の拡充を図ります。			今年度	東温市文化協会が、各界の第一人者を招いて、それぞれの専門分野のわかりやすい講演等を実施します。						
	活動内容	①	坊っちゃん劇場で、記念講演及び観劇。			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		市民大学参加者数		受講者数		人	目標	450	450	450	450		
					実績	458	444						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	800 千円	800 千円	800 千円								
	計(A)	800 千円	800 千円	800 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.008 人	60 千円	0.008 人	48 千円	0.008 人	48 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		860 千円	848 千円	848 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民大学は、東温市の個性や独自性を生み出すとともに、市民の一体感を高めるために重要な事業です。このような文化鑑賞機会の拡充に努めることが文化の香り高いまちづくりを進める上で重要です。												
有効性	市民大学の受講ニーズは、受講者数以上にあり、毎回盛会です。文化の香り高い個性豊かなまちづくりと市民の一体感の醸成が大いに期待されています。												
達成度	市民大学受講者の満足度は高い事業です。												
効率性	地方では、なかなか体験できないミュージカルが観劇でき、題材が身近なことから受講生に好評です。												
当面の課題	市委託事業として文化協会が企画運営している市民大学は、受講生の満足度も高い事業ですが、事業の周知方法に多少の問題点があり、検討が必要と思われます。												
改 革 画	開催の案内方法や、受講券の発売方法の改善等、検討します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	周知方法等運営に関して、文化協会と協議して継続実施してください。												

No.	023	—	1025	事務事業名	各種講座開催事業	細事務事業名	いきがい大学事務	公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	17年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 生涯学習社会の確立		主要施策	(5) 特色ある生涯学習プログラムの整備と提供				
	事業の対象	東温市に在住する60歳以上の高齢者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	高齢社会において必要な知識や技術を幅広く学習する機会を提供する。			今年度							
	活動内容	①	健康・医学に関する講座を実施します。			④	人権に関する講座を実施します。						
		②	料理講座を実施します。			⑤	三世代交流仲よし運動会を実施します。						
		③	県外研修(自然・歴史・文化財探訪)を実施します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		講座参加率		講座参加人数/全講座対象人数		%	目標	60	60	60	60		
					実績	41	45						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	320千円	271千円	340千円								
	計(A)	320千円	271千円	340千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.391人	2,947千円	0.391人	2,361千円	0.391人	2,365千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		3,267千円	2,632千円	2,705千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	この地域には、まちづくりのために貢献しようという気概と情熱のある高齢者が多いので、自分の人生の歩み方や地域への貢献の仕方を主体的に学ぶ機会を提供することは必要です。												
有効性	講座内容から、受講生は、多くのことを学んで生きがいを見つけたり、相互に懇談する中で共感したり、激励したりして、自分の人生に活気を取り戻すことができ、意義のある講座です。												
達成度	講座内容が、健康・医学関係、料理関係、人権啓発講座、歴史・文化財探訪、三世代交流などの分野なので、受講生は講座内容を自分の生活に生かし、満足感を得ています。												
効率性	講座内容に、県の事業や出前講座、市の人権講座を取り入れたり、地域の婦人会事業との合同開催を図ったりして、実施手段の効率化や経費削減に努めています。												
当面の課題	講座内容を考慮して受講者のニーズにあった企画運営することが課題です。												
改訂計画	高齢者に役立つ講座内容を考え、多くの情報を把握し企画していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	幅広く参加者の募集を行い、受講者のニーズに合った身になる講座となるよう工夫してください。												

No.	023	—	1026	事務事業名	各種講座開催事業	細事務事業名	レディース学級事務	公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	17年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 生涯学習社会の確立		主要施策	(5) 特色ある生涯学習プログラムの整備と提供				
	事業の対象	東温市に在住する女性				根拠法令							
	事業の目的	最終的	女性を対象に、生涯学習社会に対応するための知識や技能を幅広く学習する機会を提供します。			今年度							
	活動内容	①	健康・医学に関する講座を実施します。			④	県外研修(自然・歴史・文化財探訪)を実施します。						
		②	人権講座を実施します。			⑤	三世代交流仲よし運動会を実施します。						
		③	趣味講座を実施します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		講座参加率		講座参加人数/全講座対象人数		%	目標 60	60	60	60			
					実績 46	47							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	230千円	170千円	241千円								
	計(A)	230千円	170千円	241千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.354人	2,668千円	0.354人	2,138千円	0.354人	2,141千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		2,898千円	2,308千円	2,382千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	女性が生き生きと健康的な生活をしていくためには、常に前向きに学習し、自分を高めていくことが大切です。従って自分を高め、地域に貢献するために学習の機会を提供することは必要です。												
有効性	受講生は、健康・趣味・教養・人権等、様々な分野で幅広く学びながら、お互いに楽しく歓談もし、日々の生活に活気と潤いをもたらすことができ、意義のある講座です。												
達成度	受講生は、他の組織にも所属していたり、自分の体調を崩したり、家族の介護をしていたりして、講座に参加できないこともあります。参加意欲は高く、講座を楽しみにしている人もたくさんいます。												
効率性	講師謝金等は、県の事業や出前講座、市の人権講座を取り入れるなどして縮減に努めています。また、地域婦人会事業との合同開催を図るなどして実施手段の効率化や経費削減に努めています。												
当面の課題	講座内容を考慮し、受講者のニーズを踏まえて企画運営することが課題です。												
改訂計画	女性に役立つ講座内容を考え、企画運営していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	幅広い年齢の方が参加できるよう、受講生のニーズを踏まえた内容を工夫してください。												